

授業科目 (ナンバリング)	ホスピタリティ演習 I (N4A201)			担当教員	藤田 英明・山口 拓・神田 紘介・ 山田 耕平・末廣 真理恵・引率教員		
展開方法	演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類 型
「ホスピタリティ演習 I」は、「臨床体験学習」を主体としたヒューマンズム教育を行う科目である。1年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶと共に、学習へのモチベーション向上を目指す。							②⑦
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力							
情報収集、 分析力							
コミュニケーション力	医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	40%	
協働・課題解決 力	チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心 を持てるようになる。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	30%	
多様性理解力	チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、 体験し理解する。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループでSGDを行い、プレゼンテーションを行う。事前学習・実習中の態度およびプレゼンテーション・レポートの内容を評価する。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標（ルーブリック）は別途配布する。							
授 業 の 概 要							
「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場を見学・体験する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：配布プリント等 参考書：なし 指定図書：「薬学生 dead or alive—薬学生, 成功への鍵は…」(京都廣川書店)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者(患者・医師・理学療法士など)とどのような関わりをするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるのかについて、思いを馳せて欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	臨床体験学習 1	事前学習 (神田・藤田)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
2	臨床体験学習 2	リハビリテーション病院で医療現場を体験する。(神田・藤田・引率教員) *終日 (5コマ相当)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
3	臨床体験学習 3	リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションの準備を行う。(藤田・神田・山口拓・山田・末廣)	体験学習した内容について復習する。	54
4	臨床体験学習 4	リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。(藤田・神田・山口拓・山田・末廣)	他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。	54

注) 上記の第1回～第4回は、授業の概要を示したもので、講義の回数に変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。